

2025年11月10日

各 位

会 社 名 株式会社ジョイフル
代 表 者 名 代表取締役社長 穴見 くるみ
(コード番号 9942 福証)
問合せ先責任者 取締役管理本部長 野島 豊
(TEL 097-551-7131)

子会社の第2四半期（中間期）業績予想値と実績値との差異及び
通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社の連結子会社である株式会社フレンドリーが、本日、第2四半期（中間期）業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせを公表いたしましたのでお知らせいたします。

なお、本件が当社の連結業績に与える影響は軽微であります。

(添付)

「第2四半期（中間期）業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」
(2025年11月10日付の株式会社フレンドリー公表資料)

以 上

2025年11月10日

各 位

会 社 名 株式会社フレンドリー
代 表 者 名 代表取締役社長 八木 徹
(コード番号 8209 東証スタンダード)
問合せ先責任者 取締役営業本部長 小松 大介
(TEL 072-874-2747)

第2四半期（中間期）業績予想値と実績値との差異及び
通期業績予想の修正に関するお知らせ

2025年5月9日に公表した2026年3月期第2四半期（中間期）の業績予想値と本日公表の実績値との差異及び2026年3月期通期（累計）業績予想の修正をいたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2026年3月期 第2四半期（中間期）業績予想と実績値の差異
(2025年4月1日～2025年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想(A)	百万円 1,230	百万円 40	百万円 40	百万円 30	円 銭 3.51
実績値(B)	1,121	△7	△1	△9	△10.36
増減額(B-A)	△109	△47	△41	△39	
増減率(%)	△8.8	—	—	—	
(ご参考) 前事業 年度実績 (2025年3月期)	2,103	△39	△28	△85	△43.95

2. 第2四半期（累計）業績予想と実績値の差異の理由

当事業年度の業績につきましては、エネルギー価格や人件費、原材料価格の上昇によるコスト増加に対応するために適正な販売価格に見直してまいりましたが、想定よりも客数が減少したこと及び人件費が上昇したことにより、売上高は前回予想比マイナス109百万円、営業利益は前回予想比マイナス47百万円、経常利益は前回予想比マイナス41百万円、中間純利益は前回予想比マイナス39百万円となり、前回発表予想を下回る結果となりました。

3. 2026年3月期 通期業績予想数値の修正

(2025年4月1日～2026年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 2,420	百万円 80	百万円 90	百万円 70	円 銭 10.52
今回修正予想(B)	2,308	55	65	50	3.51
増減額 (B-A)	△112	△25	△25	△20	
増減率 (%)	△4.6	△31.3	△27.8	△28.6	
(ご参考) 前期実績 (2025年3月期)	2,103	△39	△28	△85	△16.28

4. 修正の理由

売上高につきましては、奈良、和歌山、兵庫県下の店舗において、万博の影響により想定以上に客数が減少しましたが、下記取組を実施することにより、客数の増加を見込んでおります。

- ・猛暑の中販売好調であった、「冷やし中華そば」「冷やし担担麺」に次ぐ中華そばの新メニュー導入
- ・QR決済導入による、今まで来店いただけていなかった新規顧客の獲得
- ・アプリクーポンの定期的導入

以上により売上高は、2,308百万円と前回発表予想を下回る見込みであります。

営業利益及び経常利益並びに当期純利益につきましては、中間会計期間において売上高の減少に伴い売上総利益が減少しましたが、粗利率の高い中華そばの販売構成比が上昇することにより、粗利率が改善され営業利益55百万円、経常利益65百万円、当期純利益50百万円と前回発表予想を下回る見込みであります。

(注) 本資料に記載されている業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上